

第3学年 総合的な学習の時間【R5 授業】

1 ブロック目標「いのちプロジェクト中学年～いのちの尊さを実感する児童の育成～」

2 単元名「蚕の旅」

3 単元の目標

- (1) 一人一、二匹の蚕の命を預かり飼育・観察する活動を通して、生じた疑問や課題に気づき、解決のために必要な情報を集めたり、話し合ったりすることができる。
- (2) 蚕の家畜としての役割を理解したうえで、飼育・観察を行い、最終的に預かった命をどうするか自分自身で決定する活動を通して、小さいのちにも価値があり尊さがあることを実感することができる。

4 単元の評価規準

評価の観点		単元の評価規準
ア 知識・技能		① 蚕の飼育・観察を通してその方法や育ち方について理解している。 ② 蚕の家畜としての価値を理解している。
イ 思考・ 判断・ 表現	1 課題設定	① 蚕の飼育と終末の決定のために必要な課題や解決すべき疑問に気付くことができる。
	2 情報収集	② 課題や疑問について必要な情報を集め、伝え合うことができる。
	3 整理分析	③ 集めた情報をもとに終末の活動において根拠をもって自己決定することができる。
	4 まとめ・表現	④ 飼育・観察・情報収集活動を通して感じた自分の思い、学びによる自己の変容等、自分の考えをまとめ表現することができる。
ウ 主体的に 学習に 取り組む 態度	1 自分自身にすること	① 小さいのちにも価値や重み尊さがあることに気づき、いのちの大切さを見つめ直すことができる。
	2 他者や社会との関わりに関すること	② いのちに対する友達の考え方が自分と同じであったり異なっていたりすることの根拠を理解するとともに受け入れ、認めることができる。

5 本時案 (15 時間中第 5 時)

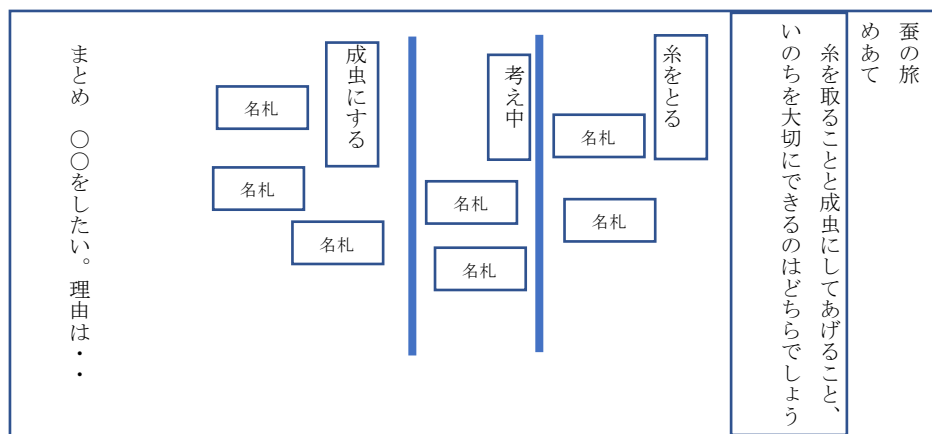
(1) 本時の目標

蚕の終末の活動において、根拠をもって自己決定しようとする事ができる。

(2) 本時の展開

時間	○学習活動・児童の発言 (C: コメント)	・指導上の留意点 ☆評価規準 (方法)
導入 10分	○前時の学習を振り返る。 C: ゲストティーチャーの斎藤さんに話を聞いた。 C: 蚕はきれいな糸を取るために飼われていることが分かった C: 絹糸を取るためには大人の虫にできないことが分かった。 ○本日のめあて、学習の流れを確認し見通しをもつ。	・前時の内容をていねいに振り返り、自分たちが考えなければいけないことが明確になるようにする。
糸を取ることに成虫にしてあげること、いのちを大切にできるのはどちらでしょう		
展開 25分	○終末の活動について話し合う。 ・糸を取るか、成虫にするかの二択で話し合う。	・ネームプレートを活用し友達の考えを可視化する。 ・友達の発言を聞く中で考えが動いたらその都度ネームプレートを動かしてよいことを伝える。 ・話し合いの中で別の選択肢が出たら板書に加える。
まとめ 10分	○話し合い活動を振り返り今日の時点での自分の考えを記述する。 C: 糸を取るのかわいそうだと思っていたけれど友達の考えを聞いて少し意見が変わった。 C: まだ決められなかった。 C: きれいな糸を取ってあげたい。 ○考えを交流する。 ○今日のめあてに対して自分の意見を述べられたか、述べられなくても考えることができたか問いかけ振り返りをする。	・板書と同じ内容のプリントを用意し自分の今の時点での考えを表す。併せて理由を書くよう伝える。 ☆集めた情報をもとに終末の活動において根拠をもって自己決定することができる。 (発言・ワークシート)

(3) 板書計画



(4)授業の記録

ゲストティーチャーの斎藤さんに話を聞いて、
蚕について学びましたね。

糸を取ることと成虫にしてあげること、
いのちを大切にできるのはどちらでしょう



蚕はきれいな糸になれるけど、
そのためには
蚕のいのちをもらわないと
いけないね・・・



でも、絹糸になって洋服などに
生まれ変わり、ずっと私たちの
そばで生きることができるね。

蚕にとって幸せなのは
どっちだろう・・・

話し合いの中で友達の考えを聞いて、
自分の考えが変わったよ！



最後に自分の気持ちをワークシートに書きました。